

2015年10月5日
株式会社環境管理センター

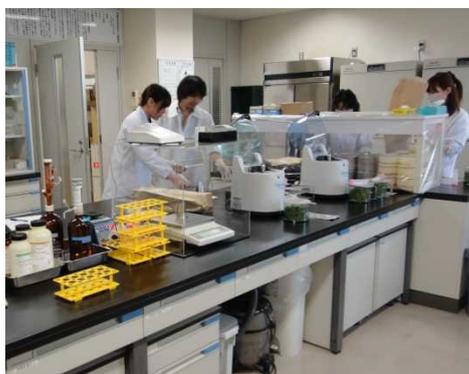
JA全農山形から農作物安全検査室の残留農薬分析業務を受託

株式会社環境管理センター（本社：東京都八王子市、代表取締役社長：水落憲吾）は、全国農業協同組合連合会山形県本部（JA全農山形、県本部長：鈴木英和）から、農作物安全検査室の残留農薬分析業務を受託いたしました。

JA全農山形では、農作物の安全・安心を担保するため、出荷前に残留農薬の自主検査を独自の取り組みとして行っています。JA全農山形内に農作物安全検査室を設け、生産部会が出荷する農作物について、出荷前に残留農薬の自主検査（サンプル抽出検査）を実施し、異常値が検出された場合は、出荷停止の措置を取ります。

当社は環境分野で培った知見をベースに、食の安全・安心を支える分野においても貢献するため、昨年9月に食品衛生法の登録検査機関となりました。また、移動分析車ムービングラボを開発し、遠隔地のラボを中央ラボからコントロールするノウハウを蓄積してまいりました。

今回、第三者の専門機関である当社がJA全農山形内の農作物安全検査室を借り受け、当社の管理体制のもと、残留農薬分析業務を行います。従前にも増して信頼のおけるデータで裏付けされた安全・安心を担保できるとともに、従来では十分に担保できなかった「輸出用農産物」や「加工用農産物」の分析や、今後必要となるであろう「機能性食品」の成分分析への対応など、さらなる事業展開に貢献させていただき所存です。



農作物安全検査室



水落社長（左）と齋藤副本部長（右）

このリリースに関する問合せ先
経営企画室 浜島直人
(042-673-0501)